

平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社かんなん丸  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 栄治  
 (コード番号 7585 東証 JASDAQ)  
 問 合 せ 先 管理部次長 宮永 一彦  
 (TEL 048-881-9056)

第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 12 日に公表した平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 6 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異および修正について

(1) 連結

第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績との差異 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 ( A )	2,731	101	100	41	10 円 92 銭
実 績 ( B )	2,545	33	36	15	4 円 01 銭
増 減 額 ( B - A )	△185	△67	△63	△26	—
増 減 率 ( % )	△6.8	△66.8	△63.6	△63.3	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 28 年 6 月期第 2 四半期)	2,835	112	115	51	13 円 50 銭

通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 ( A )	5,262	110	108	45	11 円 87 銭
今 回 修 正 予 想 ( B )	4,948	△5	△3	△23	△6 円 16 銭
増 減 額 ( B - A )	△313	△115	△111	△68	—
増 減 率 ( % )	△6.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	5,419	140	144	56	14 円 73 銭

(2) 個別

第2四半期累計期間業績予想と実績との差異（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	2,713	97	39	10円37銭
実績（B）	2,529	34	13	3円63銭
増減額（B－A）	△183	△63	△25	—
増減率（％）	△6.8	△64.5	△65.0	—
（ご参考）前第2四半期実績 （平成28年6月期第2四半期）	2,817	112	49	12円95銭

通期業績予想の修正（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	5,228	102	40	10円73銭
今回修正予想（B）	4,918	△7	△26	△6円93銭
増減額（B－A）	△310	△109	△67	—
増減率（％）	△5.9	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成28年6月期）	5,385	139	51	13円59銭

2. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間における外食業界におきましては、一部好調な業態も見られるものの、総合居酒屋業態においては、若者のお酒離れや消費嗜好の多様化等、来店客の減少に伴う既存店の売上高前年割れが見られ、経営を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっております。

このような状況の下、売上高につきましては、既存店の販売促進を推進したものの、上記影響に加え、不採算店の閉鎖（2店舗）および業態変更（1店舗）の影響もあり、売上高が低迷し、前回予想を下回りました。

営業利益につきましても、売上高の減少を要因とした収益の悪化につき、コスト削減等による費用の圧縮による吸収が困難な状況となり、予想を下回りました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、営業利益の下振れの影響に伴い予想を下回りました。

第3四半期以降の売上高につきましては、既存店売上高が減少しており、店舗営業体制を強化し集客力を向上させるとともに、不採算店舗の閉鎖や業態変更を含めたリストラクチャリングを計画しておりますが、前回予想を下回る見込みです。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、売上高の減少を補うべく、コスト削減等による費用の圧縮を図ってまいります。前回予想を下回る見込みです。

以上の結果、通期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、上記と同様の状況を見込むため、修正を行うものであります。

（注）業績予想の修正及び業績見通しにつきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断いたしておりますが、実際の業績は様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上